

3カメラ同時撮影
ミラー型ドライブレコーダー
取扱説明書 CAR-073



輸入元：ベスト・アンサー株式会社
より良いものを、よりやすく、よりスピーディーに
お問い合わせ先：078-381-9689（平日 10：00～17：00）
メール：info@bestanswer.jp
住 所：〒650-0045
兵庫県神戸市中央区港島 6-8-2 SRC8F

目次

安全上の注意	P 3
はじめに（※重要）	P 3
各部品の名称	P 4
セット内容の確認	P 5
配線の取り付け前に設定を行いましょう	P 6
※上書き保存	P 9
※Gセンサー ※監視カメラモード	P 9
※日時設定方法 ※スクリーンセーバー	P 12
※フォーマット方法	P 6
設定など完了してからSDカードをセットしましょう	P 14
取り付け準備・取り付け方	P 15
録画・静止画撮影	P 19
録画・撮影した映像の確認	P 22
よくある質問	P 24
本体リセット	P 25
保証書	P 28

このたびは、当社製品をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みになってから、正しくお使いください。本書は大切に保管してください。

ご使用時の注意事項

- 本製品は精密機器です。強い衝撃を加えたり、落下させたりしないでください。過度の衝撃や振動の加わる場所、高温・多湿の場所、直射日光が長時間当たる場所での使用や保管は避けてください。
- 防水、防塵仕様ではないので、温度、湿度の特に高い場所（自動車のダッシュボードや、暖房器具の近くなど）や直射日光が長時間あたる場所、静電気の発生しやすい場所、ホコリの多い場所には置かないでください。
- 内蔵充電電池の液漏れ、破裂、感電、故障、火災の原因となります。

安全上の注意：

- 運転中に操作（視聴）をしないで下さい。
- 発煙、異音、異臭などが発生した場合は直ちに使用を中止してください。事故や火災の原因となります。
- エアバックや運転などの安全上の妨げにならないように使用して下さい。
- ご使用の前に付属の取り扱い説明書を熟読し、機器の知識・安全上の注意事項について習熟してから正しくご使用ください。
- 本製品の付属品はすべて専用部品ですので代用品の使用や改造等すると事故につながりますのでご注意ください。
- 本製品は電磁波を発生する場合があります。
- 本製品は高温の状態でも長時間使用すると低温やけどを起こす可能性がありますのでご注意ください。
※長時間使用後はしばらく時間を置いてからご利用ください。
- 本製品は常時記録型の映像を記録する装置ですが全ての状況において映像を記録することを保証したものではありません。
- 本製品を取り付けたことによる車両・車載品の故障・事故等などの損害について弊社は一切その責任を負いません。
- 商品の仕様・外観は改良のため予告なく変更する場合があります。
- 写真は、イメージであり実際と異なる場合がございますので予めご了承下さい。

1、はじめに（※重要※）

初回ご使用時は十分に初期充電を行ってからご使用ください。

商品到着後は初期充電をお願い致します。

充電方法：

車のエンジン始動後に付属品の充電コードをドライブレコーダーのUSB接続口とシガーソケットにしっかりと差し込んでから充電を行ってください。



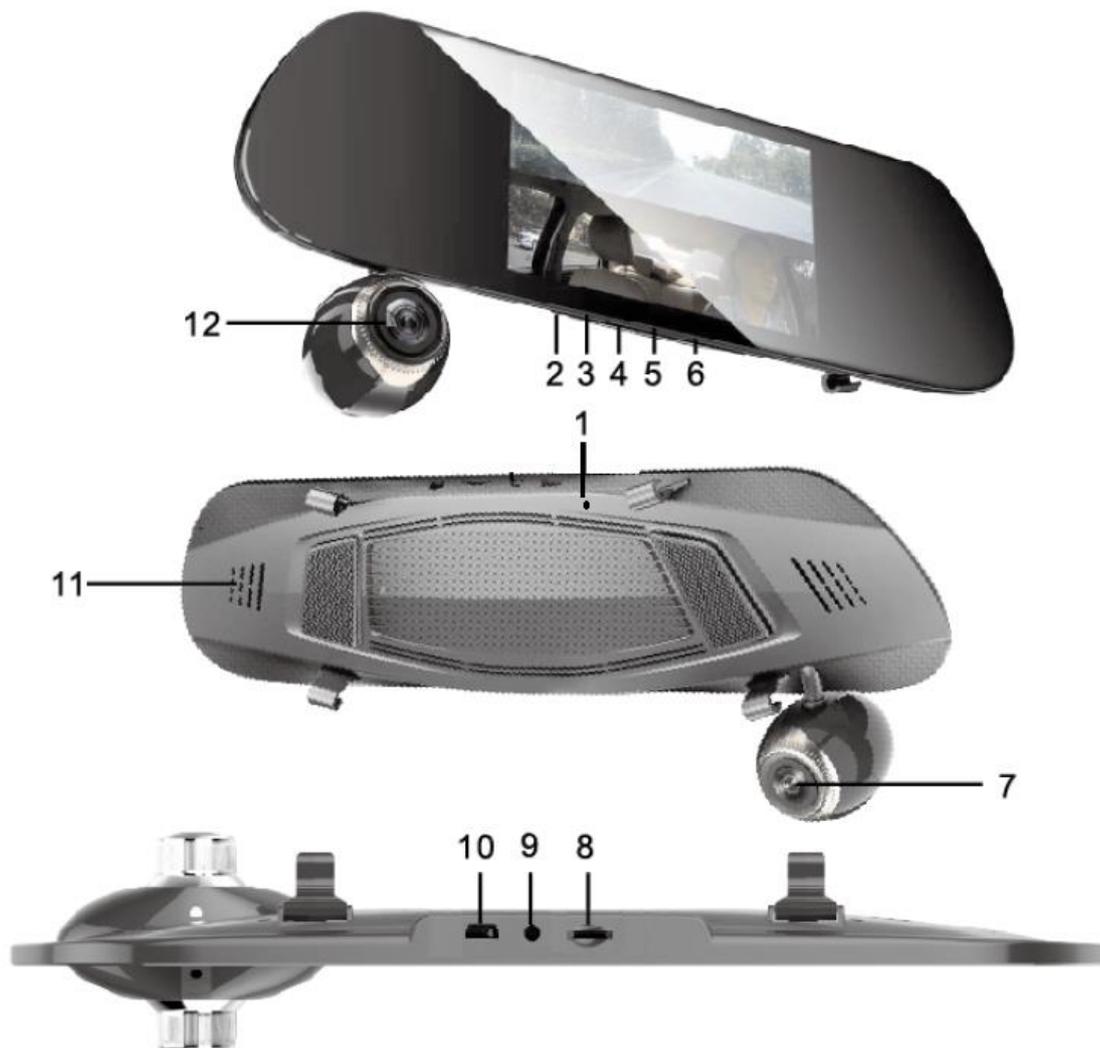
接続ができている場合：液晶画面右下にある白いバッテリーマークがゆっくり点滅します。

※シガーソケットに接続後ドライブレコーダーは自動的に電源が ON になり数秒後に録画画面が表示されますので、手動で電源ボタンを長押ししていただき本体の電源を切った状態で30分程の初期充電をお願い致します。

※初期充電をせずに直接使用する場合、画面が暗くなったり、点滅、画像エラー、設定がリセットされたりすることがありますので必ず初期充電を行ってください。

※初期充電の際は先にシガーソケットを接続してからエンジンをかけるとスタート時の過電圧で製品が破損する可能性がありますのでご注意ください。

2、各部品の名称



- 1、リセットボタン 2、アップボタン 3、ダウンボタン 4、電源ボタン
 5、Mボタン（メニュー/モード切替） 6、OKボタン 7、フロントカメラ
 8、マイクロSDカード挿入口 9、バックカメラ挿入口
 10、USB給電口 11、スピーカー 12、車内カメラ

ボタン操作について

アップボタン ▲	選択時の移動・3カメラの表示の切り替え（※短く押すとモニター表示を切り替えることができます）
ダウンボタン ▼	選択時の移動・音声録音のオン/オフができます。
電源ボタン ⏻	電源ボタンの長押しで本体電源のオン/オフができます。 電源オン時、短く押すことで <u>スクリーンセーバー P11 参照</u> （※モニターを一時的にオン/オフできるようになります。）
Mボタン M	1. 録画停止時、M長押しでメニュー画面のオン/オフができます。 メニュー画面には録画モード各機能タブとシステムモード各機能タブがあります 2. Mを短く押すことで録画モード→静止画モード→再生モードの切り替えができます。 3. 録画中にMを短く押すと録画中のファイルにロックをかけることができます。 <u>※録画中の1ファイルだけロック</u>
OKボタン OK	録画の開始・停止や、静止画の撮影、設定の確定ができます。

3、セット内容の確認

お取り付け前にセット内容が不足していないかご確認ください。

- 1、ドライブレコーダー本体 2、充電コード 3、取り付けバンド



- 4、バックカメラとバックカメラ延長コード

- 5、日本語取扱説明書



※商品改良のため、予告なく仕様変更することがあります、予めご了承ください。

配線の取り付け前に設定を行いましょ

シガーソケット用 DC アダプターを車のシガーソケットに差し込みドライブレコーダー本体のUSB給電口に挿入してください。

車のエンジンを ON にするとドライブレコーダーの電源が自動的に入り液晶画面が表示されます。

※先にSDカードを挿入しないでください。

SDカードを挿入した場合、電源を入れると自動的に録画が開始されます。

その際はOKボタンを押し、録画を停止してから各種設定を行ってください。

※設定を行う場合、必ず充電した状態で行ってください。

※設定は録画を停止させてからしかできません。

本製品は、標準設定状態で出荷をしております。

すべての設定を再度行う必要はありません。必要に応じて設定を行ってください。

■日付設定 (P11) 設定を行ってから、microSD カードを挿入するとご使用いただけます。

■標準設定の場合

車のエンジンをオンにすると、ドライブレコーダーの電源が自動的にオンになり、録画を開始します。3分毎に1つのファイルが保存されます。SDカードの容量がいっぱいになると古いファイルから上書きします。エンジンをオフにすると、録画を終了し、本体の電源がオフになります。

※一部外国車のお車について

エンジンオフ時、シガーソケットの電力が供給される場合は、録画が停止しないためご注意ください。

※下記設定が必要な場合は、各ページの設定手順をご確認ください。

G センサー	P9 をご参照ください。
監視カメラモード	P9 をご参照ください。
スクリーンセーバー	P11 をご参照ください。

SD カードをフォーマットする

●必ず 1~2 週間に1度本製品で SD カードをフォーマット (初期化) してください。新品でもフォーマットを行ってからお使いください。

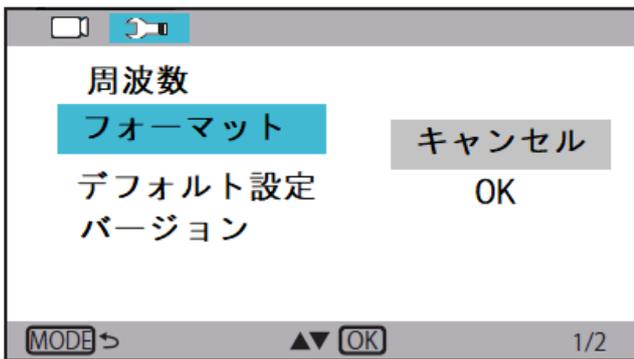
●定期的にフォーマットをしないと、エラーの原因になります。

●SD カードは消耗品です。定期的に新しい SD カードに交換してください。

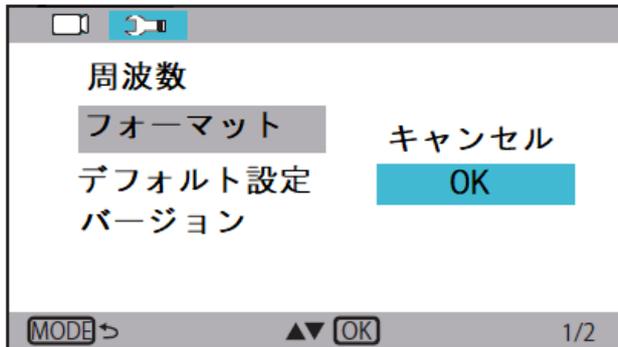
※フォーマットを行うと、保護したファイルもすべて削除されます。必要に応じてパソコンにバックアップ等を行ってからフォーマットをしてください。



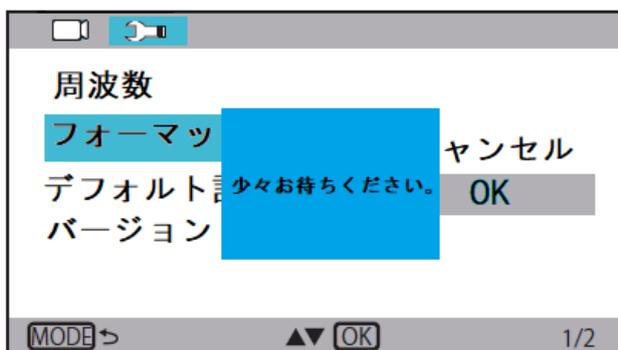
- 1、ドライレコーダーの電源が入っている状態。
録画中の場合、「OK ボタン」を押して、録画を停止してから操作をしてください。「M ボタン」を長押しして、設定画面を表示させます。



- 2、もう一度「M ボタン」を短く押すと、システム設定画面が表示されます。「アップボタン」でカーソルを【フォーマット】まで移動します。



- 2、OK ボタンを押すと【キャンセル】が青くなり、「ダウンボタン」で【OK】を選択します。



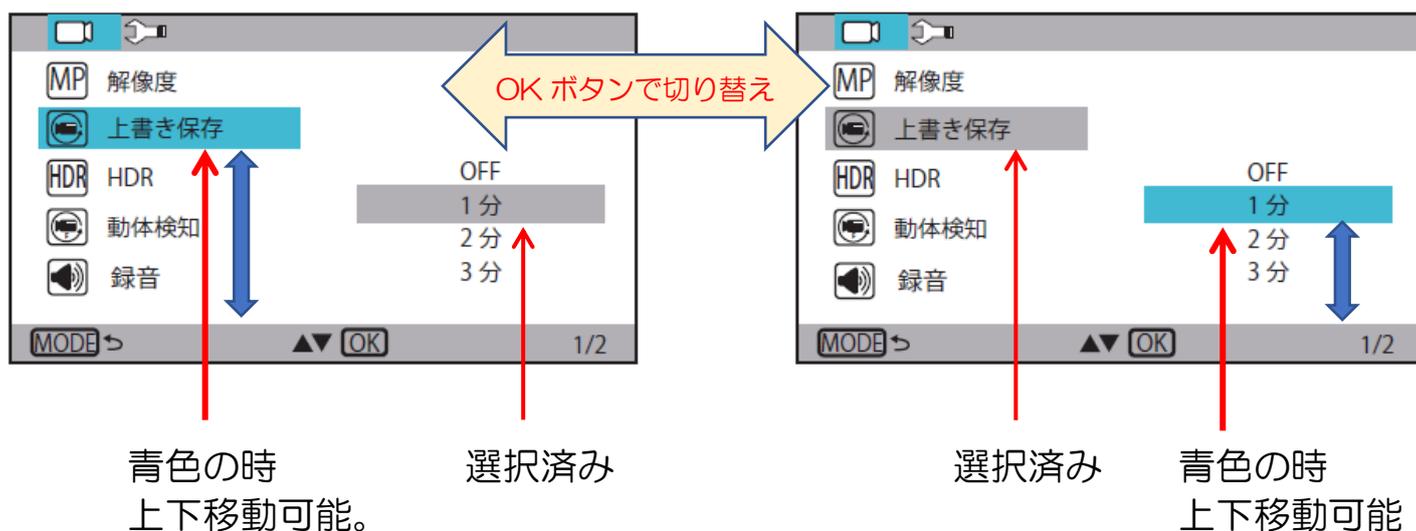
- 3、「OK ボタン」を押します。【少々お待ちください。】の表示が消えましたら完了です。
- 4、「M ボタン」を短く押すと録画面に戻れます。

■設定内容

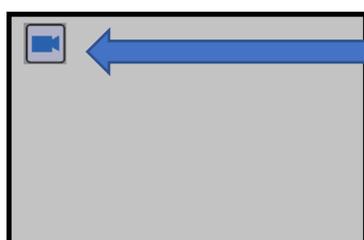
設定方法：

録画をしていない状態で、「M ボタン」を長押し、メニューが表示し、設定を行ってください。（「OK ボタン」で録画の開始/停止ができます。）

※「UPボタン」と「DOWNボタン」でカーソルを移動し、設定を行う項目が青色になり、「OKボタン」を押すとその項目が選択され、右側にある設定内容が青色になります。「UPボタン」と「DOWNボタン」でカーソルを移動し、「OK ボタン」で確定します。



動画モード設定



液晶画面の左上にビデオマークが表示されます。

録画モードの時に、「M ボタン」を長押しすると、設定メニューが表示されます。「アップボタン」あるいは「ダウンボタン」で移動し、「OK ボタン」で設定を変更することができます。

※各設定は初期設定済みの状態ですので、必要に応じて設定を行うだけで使用できます。

●動画解像度：

1080FHD(1920 × 1080)/1080P(1440 × 1080)/720P(HD)(1080 × 720)/から選択できます。

※設定するのは前方カメラのみの解像度となります。数値が高いほど画質がよいです。

初期設定 1080FHD

●上書き保存：OFF/1分/2分/3分

OFF/1分/2分/3分/を選択し、1ファイル当たりの保存時間を設定します。
SDカードがいっぱいになったら、通常録画の古いデータから上書きしていきます。

初期設定 3分

※OFFに設定するとSDカードがいっぱいになると録画がしなくなります。

●HDR：ON/OFF

録画した画像全体の露出を調整します。

初期設定 ON

●動体検知：ON/OFF

初期設定：OFF（通常運転の録画の場合はOFFに設定してください。）

※動体検知機能は画面に変化があると自動的に撮影を開始する機能です。

動きがなくなりしばらくすると録画を停止して動体検知に戻ります。

※電源が入った状態でしか作動しません。

※防犯目的でご利用の場合は、シガー電源ではなく別途常時給電できる状況で
ご使用いただく必要があります。

※作動中一度OKボタンを押すと設定は解除されます。

●録音：ON/OFF

※録画中に録音のオン/オフ設定

初期設定 ON

●日付表示:ON/OFF

※録画ファイルに日付表示の設定。

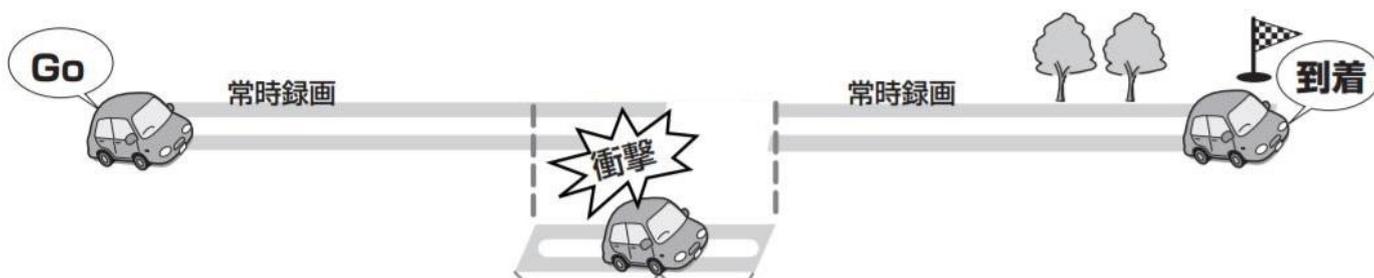
初期設定 ON

●Gセンサー機能：OFF/低/中/高

運転中、Gセンサー衝撃感知を設定します。

初期設定 OFF

常時録画中に衝撃や振動を検知すると、その録画ファイルに自動的にロックをかけて、
上書きされないファイルにする機能です。

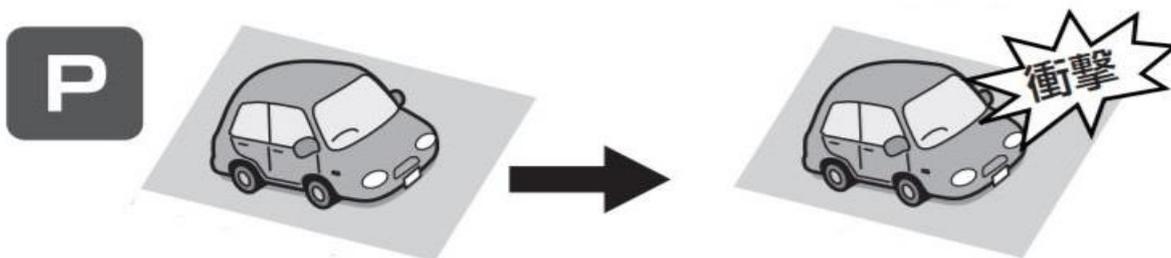


※ロックがかかったファイルが溜まってしまった場合、SDカード容量不足の表示が
出ます。よくSDカード容量不足の表示が出る場合、Gセンサーの感度を設定しな

おしてください。Gセンサー機能が不要な場合はOFFに設定してください。
※GセンサーをOFFにすると衝撃を検知した際にも録画ファイルにロックがかからないため、SDカードがいっぱいになると順番に上書きされていきます。

●駐車監視モード：ON/OFF

初期設定 OFF



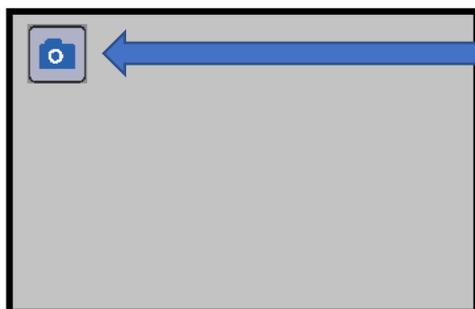
※エンジンを切った後、車が衝撃を受けると、本機の電源がオンになり録画が開始されます。録画が終了すると本機の電源がオフになり、待機状態に戻ります。

●監視カメラモードの録画時間は、衝撃検知から約20秒～30秒です。録画されたファイルにはロックがかかるため、上書きされません。ロックがかかったファイルが溜まるとSDカードの容量不足の原因になりますので、定期的にSDカードをフォーマットすることをお勧めします。

●監視カメラモードは衝撃を検知してから数秒後に録画が始まります。乗車や降車時のドアを閉めたときの振動を検知して、録画モードが作動することがあります。感度以上の振動があっても、自動録画がされないことがあります。

●内蔵バッテリーが充電されていない状態あるいはマイクロSDカードの容量がない場合、録画が始まらない場合があります。

静止画モード設定



液晶画面の左上にカメラマークが表示されます。

静止画モードの時に、「Mボタン」を長押しすると、設定メニューが表示されます。「アップボタン」あるいは「ダウンボタン」で移動し、「OKボタン」で設定を合わせることができます。

※各設定は初期設定済みの状態ですので、設定を行われなくても使用することができます。

●解像度：

静止画を撮影する画像のサイズを表示します。

12M 4032×3024/ 10M 3648×2736/ 8M 3264×2448/
5M 2592×1944

※設定するのは前方カメラのみの解像度となります。数値が高いほど高画質です。

初期設定 12M 4032×3024

●連写：ON/OFF

※ON にすると数枚を連続撮影することができます。

初期設定 OFF

●画質：良質 /標準/低質

※画像の画質を設定することができます。

初期設定 標準

●鮮明度：鮮明/標準/ソフト

※画像の鮮明度の調節を行います。

初期設定 標準

●ホワイトバランス：自動/晴天/曇り/白熱光

初期設定 自動

●ISO：自動/100/200

ISO 感度は夜間などの暗い映像をどこまで記録できるか示しています。

ISO 感度を上げると同じ絞り値であれば、シャッタースピードが速くなります。

初期設定 自動

●手ぶれ：ON/OFF

手ぶれによる映像の乱れを軽減させます。

初期設定 ON

●日付表示:OFF/日付/日付/時間

※静止画撮影に日付表示の設定。

初期設定 日付/時間

システム設定：

録画モード、静止画モード、再生モードのどちらのモードでも「M ボタン」を長押し設定メニューが出てから、再度「M ボタン」を短く押すとシステム設定が表示されます。「ダウンボタン」でカーソルを移動し、各設定を行ってください。

●日付/時間：

現在日時/時刻の設定を行います。

「**ダウンボタン**」で日付/時間までカーソルを合わせ、「**OK ボタン**」を押すと年の設定部分が**青く**なります。

「**アップボタン**」と「**ダウンボタン**」で、数字を調整し、「**OK ボタン**」で確定すると次の設定項目へ移ります、年/月/日、時/分/秒まで設定してください。

設定を完了しましたら、「**M ボタン**」を押すと次の項目設定へ戻ります。

●オートシャットダウン：OFF/1分/3分

録画されていない状態あるいは操作を行っていない状態で自動的に電源が切れるまでの時間を設定します。

初期設定 OFF

●スクリーンセーバー：OFF/3分/5分/10分

※スクリーンセーバーを3分、5分、10分に設定しておく、録画を開始して設定した時間がたつと画面が消灯されるようになります。消灯されても録画は続行されています。OFFに設定すると録画モニターが表示されたままになります。

液晶を消してルームミラーとして使用したい場合、OFF以外に設定してください。

初期設定 OFF

●操作音：ON/OFF

ボタン操作時に音の設定です。

初期設定 ON

●言語:言語を変更します。

初期設定 日本語

●周波数：50Hz/60Hz

初期設定 50Hz

※参考：日本の周波数は、およそ、富士川（静岡県）と糸魚川（新潟県）を境に東側は50回（50Hz＝ヘルツ）、西側が60回（60Hz＝ヘルツ）となっています。ただし、境界付近には「50Hz」と「60Hz」の混在地区もございますのでご注意ください。

●フォーマット：

マイクロSDカードをフォーマットします。

SDカードを初期化してSDカード内のデータをすべて消します。

※SDカード容量不足やエラーが出た場合、必ずフォーマットを行ってください。

SDカードにデータの記録が繰り返されると録画可能時間が減少したりデータの読み込みや書き込みに時間がかかったりします。安定してお使いいただくために1～2週間に一度SDカードのフォーマットを行ってください。

「SDカードの容量がいっぱいです」などのエラーメッセージが出た場合はフォーマットや動画の削除をすることによって解決されます。

エラーメッセージが出た際にフォーマットをしないと電源が付かなくなる可能性がありますので必ずフォーマットか動画の削除のするようにしてください。

フォーマットするとSDカードにあるデータがすべて消えますので大切なデータがあった場合はパソコンなどへ移してから行ってください。

※下記の場合は必ず1～2週間に1回SDカードをフォーマットするようにしてください。

※当製品にマイクロSDカードを初めて使用する場合、必ずフォーマットを行ってからお使いください。

※駐車監視モードをONに設定される場合

※GセンサーをONに設定される場合

※長時間運転される場合

※マイクロSDカードが認識されない場合

※マイクロSDカードがいっぱいという表示が出た場合

※ドライブレコーダーが正常に動いているのに、エラー画面が出た場合には

大切なデータがございましたら、パソコンなどにデータを移行してからパソコンあるいはドライブレコーダー本体でフォーマットを行えば改善される場合があります。

方法：カーソルを【フォーマット】まで移動し、「OK ボタン」を押すと、【キャンセル】が青くなります。「アップボタン」でカーソルを【OK】まで移動し、「OK ボタン」を押すと【少々お待ちください。】が表示し、数秒後消えましたら、フォーマットが完了です。

●デフォルト設定：キャンセル/OK

すべての設定内容を工場出荷状態に戻すことができます。

●バージョン

設定を完了させてからSDカードをセットしましょう

※本製品の使用にはマイクロSDカード（別売）が必要です。

※マイクロSDカードとアダプターの使用方法。
（アダプターはパソコンに挿し込む際に使用します）

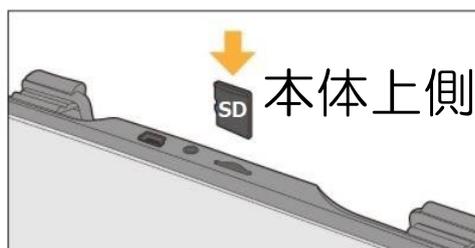


パソコン or カードリーダーに差し込み、
データを読み込みます。

本製品へのマイクロSDカードの挿入方法

※本体上部のマイクロSDカード挿入口にSDカードの向きに注意し指の爪でカチッと音がするまで確実に奥まで差し込んでください。（本体内部に入り込みます）

※ドライブレコーダーの液晶画面とSDカードが印字されている面を合わせて差し込んでください。



※SDカードを取り出す際はカードをカチッと音がするまで押し込みカードが少し出たらゆっくりと引き抜いてください。

※すべてのファイル（動画、写真、音声）がマイクロSDカードに保存されます。

※マイクロSDカードは最大32GBまで対応しています。対応は8～32GBになります。SDカードは正規品のCLASS10の製品を推奨します。

※マイクロSDカードの抜き差しは必ずドライブレコーダーの電源を切った状態で行ってください。データが消えたり破損したりする可能性があります。

※マイクロSDカードを差し直した場合は反応するまでに数秒ほど時間がかかる場合がございます。

※長時間の使用によりメモリーカードが高温になった場合は直接手で触れないでください。火傷の原因となります。

※油がついた手や濡れた手でメモリーカードを触らないでください。損傷、故障の原因となります。

※マイクロSDカードには相性がございます。万一SDカードを認識しないや録画がフリーズする場合は別のSDカードをお試しください。

※使用したことがあるSDカードを利用する場合は必ずフォーマットしてからお使いください。万一認識されない場合はパソコンにてフォーマットを行ってからお試しください。

※フォーマットを行うとSDカードにあるデータが全て消えてしまいますので大切なデータがある場合はパソコンなどへ移してから行ってください。

※SDカードはデータの記録が繰り返されると録画可能時間が減少し、データの読み込みや書き込みに時間がかかたりします。安定してお使いいただくために1～2週間を目安にSDカードのフォーマットを行ってください。

※ドライブレコーダーが急に使えなくなった場合（録画画面が白くなる、すぐに電源が落ちたりするなど）はSDカードを抜き電源を入れ直して録画以外の機能が正常に作動するかどうかを確認してください。SDカードなしの状態でも正常に作動する場合はSDカードに不具合がある可能性があります。

※SDカードは消耗品ですので定期的に新しいSDカードに交換することをお勧めします。長期間ご使用になると不良セクタの多発などにより正常に記録できなくなる場合やSDカードエラーの原因になり使用ができない場合があります。SDカードの消耗による損傷について弊社は一切責任を負いません。

※本機をご使用中にデータが消失した場合でもデータ等の保証について弊社は一切その責任を負いません。

取り付け準備・取り付け方

●取り付け位置を確認する

温度湿度の特に高い場所（自動車のダッシュボードや、暖房器具の近くなど）や直射日光が長時間あたる場所 静電気の発生しやすい場所 ホコリの多い場所には置かないでください。内蔵充電電池の液漏れ・破裂・感電・故障の原因となります。

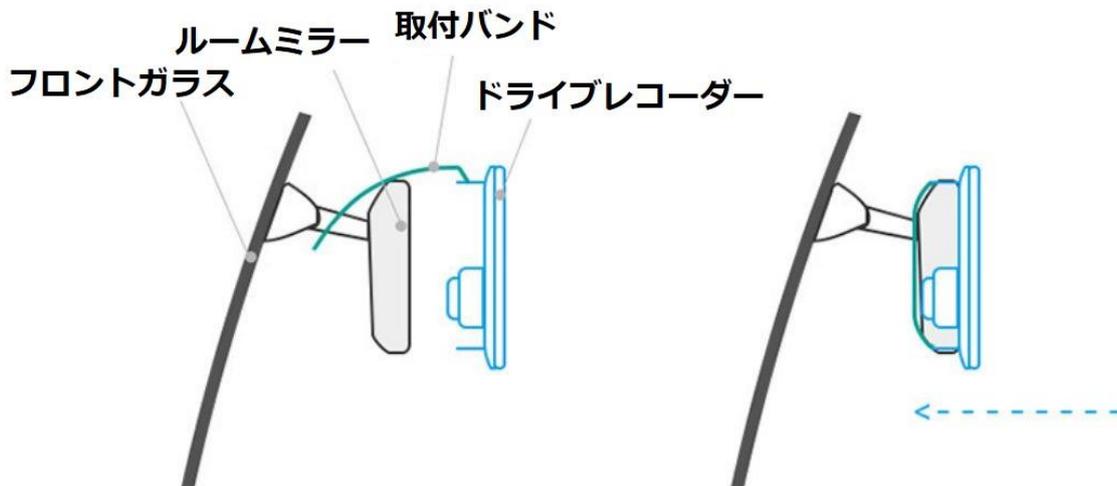
① カー電源ケーブルを接続する

付属の電源DCアダプターケーブルのUSB端子をドライブレコーダー本体上部にあるUSB挿入口に差し込んでください。

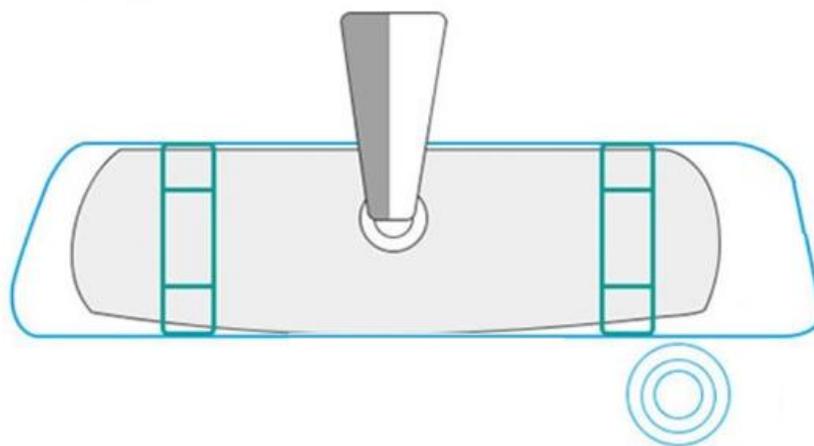
※バックカメラも取り付ける場合、バックカメラの延長コードをドライブレコーダー本体の上部にある接続口に差し込んでください。

② ルームミラーに装着してください。

A. 取り付けバンドを本体のクリップ部につけ、ルームミラーに合わせてください。



B. ルームミラーを挟みこむようにして、本体のクリップ部に取り付けてください。



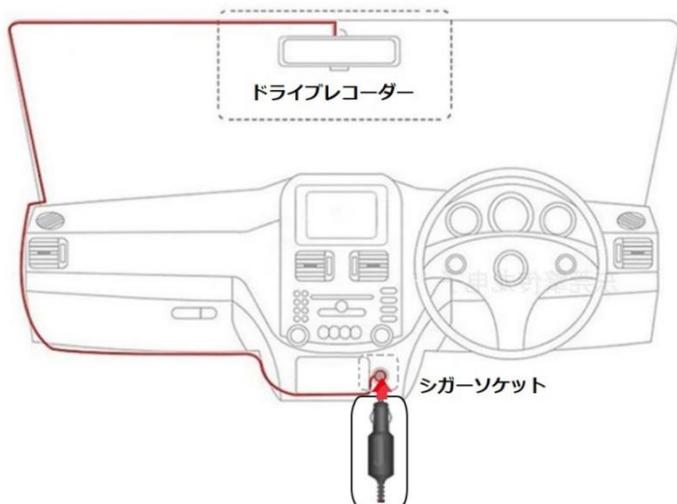
注意

- 運転時の視界や操作を妨げないでください。

② 電源ケーブルを取回す

ドライブレコーダー本体をルームミラーに取り付けた後、市販のケーブルフックなどを使いシガー電源ケーブルの配線进行处理していきます。

●配線例



※イラストはあくまでも一例です。

お客様の車種に合わせて配線してください。

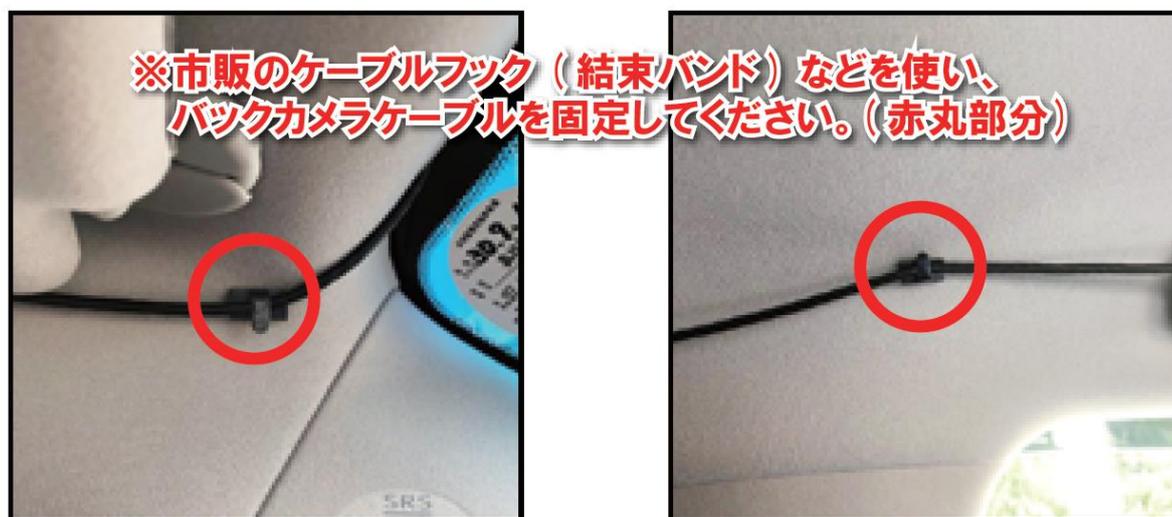
※ドアを開閉しケーブルが挟まれないかを確認してください。

④バックカメラを取り付ける

付属のバックカメラを本体と接続することで後方の映像を確認・録画することができます。

バックカメラを固定用ネジもしくは両面テープ付スポンジを使い、取り付けます。バックカメラを固定した後にバックカメラケーブルを市販のケーブルフックなどで配線処理していきます。

※バックカメラの電源はレコーダー本体から常時供給されます。

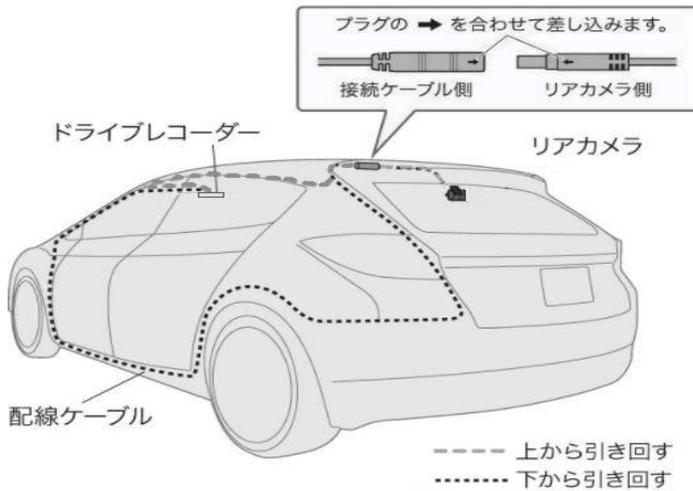


1、車内設置方法

車内配線を行いながら後部ガラスの上面にカメラを設置し上下の角度をモニターの確認をしながら合わせます。



●配線例



※イラストはあくまでも一例です。

お客様の車種に合わせて配線してください。

※ドアなどを開閉しケーブルが挟まれないかを確認してください。

配線の簡易図面：



※バックカメラ用コード（赤配線）について

- このコードをバックランプ等のプラスに接続していただくとバックギアと連動しバックカメラの映像がモニターに表示しガイドラインも表示されます。
- このコードを接続しなくても本商品はバックカメラの録画機能としてご使用いただけます。ただしバックギアと連動しないため、バック時の後方映像を確認したい場合は、アップボタンで切り替えることとなります。

※ガイドラインの表示は角度によっては正しく表示されませんので必ず直視にて後方確認を行ってください。

※運転中の事故等の責任は一切負いかねますのでお客様自身で安全運転を心掛けて下さい。

2、車外設置方法

後部ナンバープレート上部に設置を行います。
整備工場等へご依頼下さい。



※使用上の注意

車のバック時にはモニターだけに頼らず背後周辺の人物等にも十分に注意をして必ず直視にて後方確認を行ってください。

運転中の事故等の責任は一切負いかねますのでお客様自身で安全運転を心掛けて下さい。

⑤エンジン始動後カメラの角度を調節する

エンジン始動後に録画面面に切り替わりますので画面の映像を見ながらカメラの角度を調節してください。

※お好みに合わせて角度の調節をしてください。

これで取り付けが完了です。

録画・静止画を撮影する

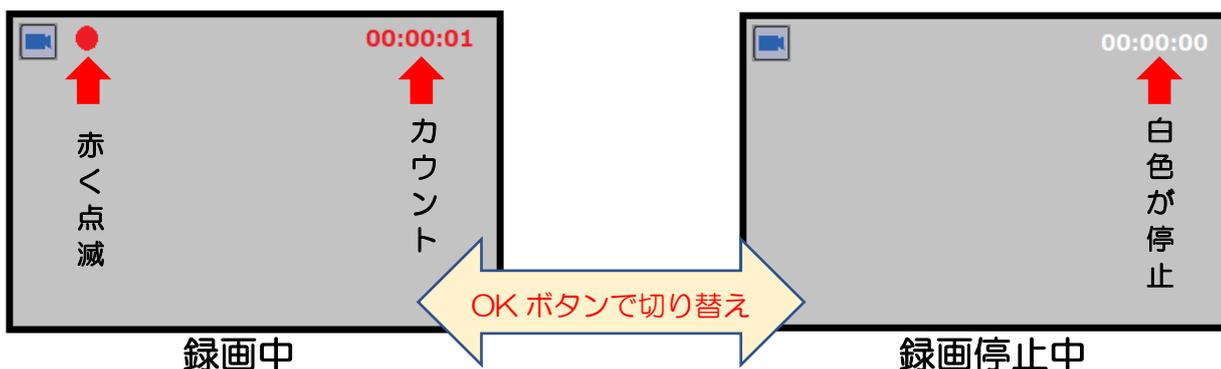
●動画撮影モードで撮る

①エンジンをかけ電源を ON にすると自動的に録画が開始されます。

エンジンをかけるとドライブレコーダーの電源が自動で ON になり、録画できる画面になり、自動的に録画が開始されます。

■自動録画（通常録画）

録画中：液晶画面の左上のビデオマークの隣に赤い●が点滅し、右上には録画時間のカウントが始まります。



■手動録画（通常録画）

ドライブレコーダーの電源が入った状態で、OKボタンを押すと手動で録画を開始/終了することができます。

※通常録画で保存されたファイル名はMOV●●●●●で保存され、SDカードの容量がいっぱいになると自動で古いファイルから上書き保存されます。

※上書き保存時間を3分に設定した場合、カウント数字は03:00までカウントし、00:01から再スタートします。録画のファイルも3分ごとに保存されます。

■衝撃感知録画（上書きされません）

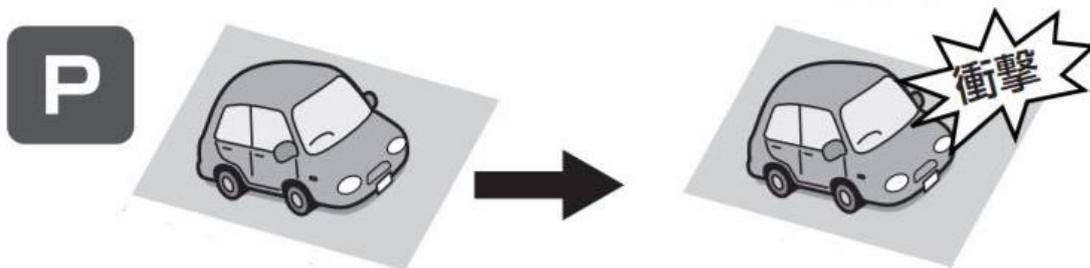
1、Gセンサー機能（フォルダ名：LOC●●●●●）

録画中衝撃を検知した際、その録画ファイルの映像にロックをかけ記録保護します。衝撃感知で録画された映像は自動で保護されSDカードの容量不足になっても上書きされません。保存されたファイル名はLOC●●●●●になります。

SDカード容量不足の原因になります。

2、駐車監視モード

① エンジンを切った後に衝撃や振動を検知した際に数秒後に録画が開始されます。



- ・録画ファイルは1ファイル約20秒～30秒程度で保存されます。
- ・内蔵バッテリーがない状態では録画が開始されません。
- ・車を降りた時、ドアを閉めた際の衝撃でも稼働することがあります。
- ・保存されたデータは上書き保存されないようにロックがかかりファイル名がLOC●●●●●になります。
- ・このファイルが溜まるとSDカード不足の原因となります。
その場合はSDカードをフォーマットするようにしてください。

②エンジンをかける

エンジンをかけると監視カメラモードが終了し、自動で電源がONになります。

※手動録画をロックします。録画中にモードボタンを押すとその録画ファイルをロックします。

■保存先

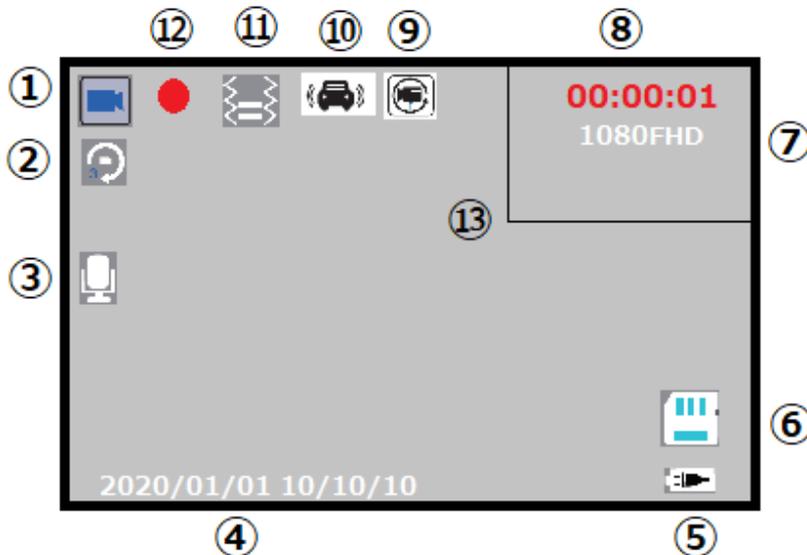
マイクロSDカードに保存されます。

（保存フォルダ：フロントカメラはDCIMA、車内カメラはDCIMC、バックカメラはDCIMB）

エンジンをかけてから切るまで連続で録画し続けます。

※マイクロ SD カードが破損した場合、録画が切れたり、保存できなかつたりすることがありますので、録画のデータを定期的にご確認のほどよろしくお願ひします。発見した場合、早めにカードの交換をしてください。

動画録画中の画面マークについて



① 録画モード

録画モードの場合、ビデオマークとなります。
静止画モードの場合、カメラマークとなります。
再生モードの場合、再生ボタンマークとなります。
3 の場合、3分ごとに上書き保存されます。

② 上書き保存表示

③ 録音表示

OFF の場合、赤い斜線が入ります。

④ 日時表示

現在の日時を表示します。

⑤ 電池表示

ちゃんと充電の接続ができている場合、点滅します。

⑥ SD カード表示

SD カードが未挿入の場合、赤い×が付きます。

⑦ 解像度表示

フロントカメラの録画解像度を表示します。

⑧ 録画時間表示

録画中は赤くカウントします。

上書き保存を3分に設定されている場合、03:00 まで数えると 00:00 から再スタートします。

⑨ 動体検知マーク表示

動体検知が ON に設定した場合表示します。

⑩ 駐車監視モード表示

駐車監視モードが ON に設定した場合表示します。

⑪ G センサー表示

G センサー設定された場合、表示します。

⑫ 録画表示

録画中に赤く点滅します。

⑬ カメラ表示

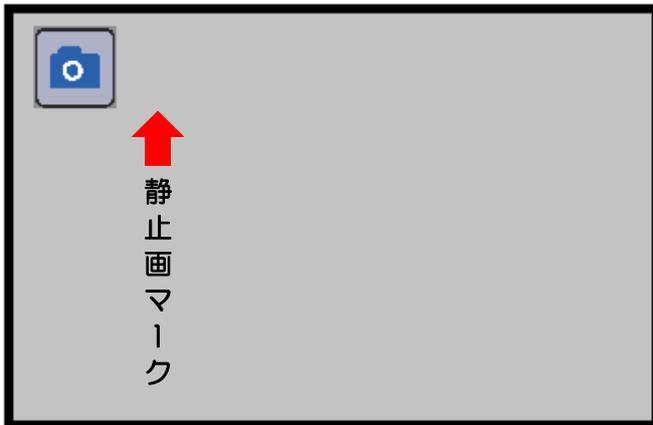
バックカメラがついている場合、バックカメラの映像が表示します。バックカメラがついていない場合、車内カメラが表示します。

●録画面面表示の切り替え

録画はフロントカメラ、車内カメラ、バックカメラの同時録画ですが、通常表示はフロントカメラの大画面と右上のバックカメラの小画面の2つだけです。「アップボタン」で録画面面の3カメラの表示は切り替えられます。再起動した場合、元に戻ります。

■静止画撮影

録画が停止中にモードボタンを押すと、録画モードから静止画モードに変わります。静止画撮影モード中にOKボタンを押すと静止画を1枚撮影します。SDカードの容量が一杯になると静止画撮影はできません。



録画・撮影した映像の確認

録画を確認されたい場合、録画を停止してから操作可能になります。

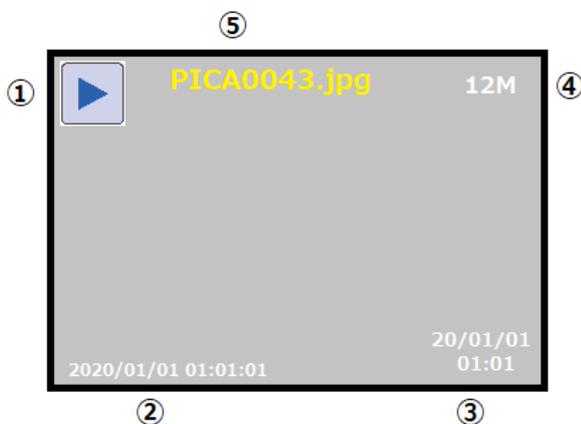
録画の停止方法：

「OKボタン」を一回押すと録画が停止します。

●ドライブレコーダー本体で確認する方法

録画を停止後、モードボタンを2回押すと再生画面になります。

静止画の場合



- ① 再生モード
- ② 日付表示 写真についている日付です。
- ③ 現在の時刻表示です。
- ④ 写真の解像度表示です。
- ⑤ 静止画の番号表示です。

ファイル名は PIC●●●は静止画になります。

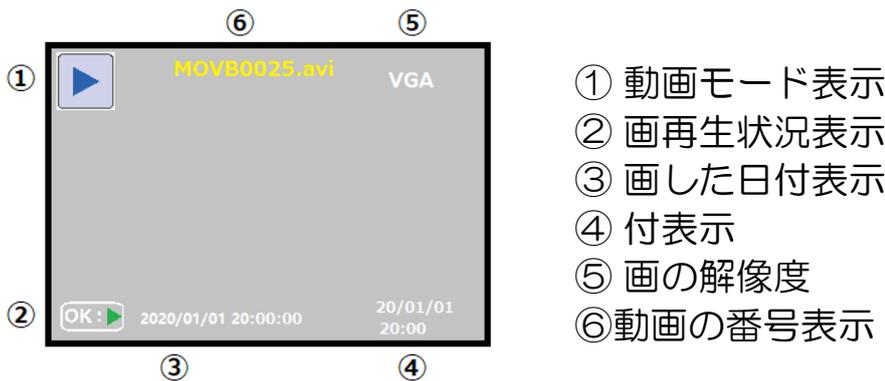
ファイル名は PICO○になります。

PICA：フロントカメラが撮影した静止画

PICB：バックカメラが撮影した静止画

PICC：車内カメラが撮影した静止画

動画の場合



ファイル名は

MOVA：フロントカメラが録画した通常の録画ファイル

MOVB：バックカメラが録画した通常の録画ファイル

Mから始まるファイルのデータは上書きされるデータとなります。

SDカードがいっぱいになると古いデータから上書きします。

MOVC：車内カメラが録画した通常の録画ファイル

LOCA：Gセンサーや監視カメラモードが作動し、フロントカメラが録画したファイル

LOCB：Gセンサーや監視カメラモードが作動し、バックカメラカメラが録画したファイル L から始まるファイルのデータは上書きされないデータとなります。

※車内カメラの録画はロックがかかりません。

SDカードがいっぱいになったら、SDカード容量不足という表示が出ます。この場合、SDカードをフォーマットしてください。

A、ファイルの再生

再生したいファイルを「アップボタン」と「ダウンボタン」で移動して選択し、「OKボタン」を押すと再生されます。

B、ファイルの削除

再生モードの状態、削除したいファイルまで移動し、M ボタンを長押しすると、削除する選択画面が表示され、「ダウンボタン」で【削除】まで移動し、「OK ボタン」で決定し、【削除】を OK ボタンで決定し、ダウンボタンで【OK】まで移動し、「OK ボタン」で削除します。

※LOC●のファイル名のデータはこの方法では削除できません。SDカードをフォーマットすることで削除されます。

●PCで録画ファイルの確認

パソコンにカードを読み込む

撮影したデータをパソコンで見るには、microSDカードを本体から抜きカードリーダー(別売)や付属のアダプターなどでパソコンに読み込ませます。

●マイコンピュータの所にSD(D:) (パソコンにより表示が異なります)が表示され、クリックするとDCIMA、DCIMB、DCIMCファイルが表示されます。

DCIMAはフロントカメラが撮影した動画や静止画のデータになります。

DCIMBはバックカメラが撮影した動画や静止画のデータになります。

DCIMCは車内カメラが撮影した動画や静止画のデータになります。

ファイル名の種類：

MOV●から始まるファイルは通常録画データです。SDカードがいっぱいになると古いデータから上書きされます。

LOC●から始まるファイルは駐車監視モードやGセンサー機能が作動し、録画したファイルです。こちらのファイルにはロックが掛かっており、SDカードがいっぱいになっても上書きされません。フォーマットによって削除可能です。

PIC●は静止画のデータです。

※動画を再生するソフトはWINDOWSの正規プレイヤー-WINDOWS MEDIA PLAYERで再生することをお勧めします。

※定期的にカードの録画情報を確認することをお勧めします。録画に漏れがあった場合、新しいマイクロSDカードに交換するようにお願いします。

●よくある質問

1、日付がリセットされます。

●ドライブレコーダー本体がきちんと充電出来ていません。

シガー電源がきちんと差し込まれ赤いランプが点灯しているかを確認してください。

●駐車監視をONにしている場合、ドライブレコーダー本体のバッテリーを消耗している可能性があります。

2、製品が稼働しない、電源が付かない、画面が真っ黒になり、反応しない。

●シガー電源の故障やバッテリーの電圧不足あるいはシステムのエラーが原因だと考えられます。

A、シガーソケットの接続を差しなおします。

B、本体リセットを行います。SDカードを抜いていただき、本体の裏にあるリセットボタンを長押しドライブレコーダーを再起動してください。



電源が付かなくなった場合、

SD カードを抜いた状態で本体裏のリセットボタンを先端がとがったもので長押ししてください。その後、電源をONにし、SDカードのフォーマットを行ってください。リセットしても改善されない場合は弊社にお問い合わせください

3、エンジンを切ったときすぐに電源がオフになる。

●シガーソケットが故障していないかをチェックし、故障していない場合は液晶画面をOFFにした状態でシガラの電源で本体の充電を十分に行ってください。

4、エンジンを入れたときすぐに電源がオフになる。

●SDカードを抜いていただきSDカードがない状態でドライブレコーダーの電源を入れます。正常に映る場合はSDカードの不良の可能性があります。

●シガーソケット電源が故障していないか確認してください。

5、記録した静止画が表示されないあるいは壊れている。

●SDカードの読み取り速度が遅い可能性があります。正規品のCLASS10のマイクロSDカードをご利用ください。

6、再生時に音が出ない

●動画音声切り替がOFFになっている可能性があります。ONに設定してください。

7、上書き保存を設定しているのに上書き保存されていない

●保護されている(ロックがかかっている)ファイルがいっぱいになっているため不要な保護ファイルを削除してください。あるいはSDカードをフォーマットしてください。

8、SDカードを挿入したのにSDカードを挿入してくださいと表示される

●数秒たっても反応しない場合は一度SDカードをフォーマットしてみてください。

●SDカードが奥まできちりと入っていない可能性があります。

9、走行中画面を消したい。

●スクリーンセーバーをOFF以外に設定してください。設定していただいた時間が経過すると画面が消えます。

10、従来使用していたカーナビのテレビ(地デジ)がワンセグしか視聴出来なくなりました。(ラジオの電波が悪くなった)

●本製品作動時のノイズの影響により車内の各電子機器が誤作動を起こすことがあります。対処方法として以下の方法をお試しください。

- ・受信アンテナの向きまたは場所をかえる。
- ・当製品と受信機の距離を離す。(40センチ以上) 距離を離すことで干渉する場所を確定していただき下記商品を試してみる。
- ・ノイズをカットするフェライトコア・電磁波ノイズ防止シートの使用をおすすめします。(当社では販売はしておりません) 100 円ショップ、家電量販店・ネットなどでの購入をお願い致します。

尚、対策を講じても確実にノイズを防止できるものではありません。

※車両によっては、同条件でもノイズの影響うけないことがあります。

1.1、SDカード容量不足のような表示が出ました。

SDカードのフォーマットを行ってください。フォーマットをおこなうことによってSDカードの全データが削除されます。フォーマット方法はP6~P7を参照してください。

●下記の設定内容は上書きされないロック付きのファイルを作りますので一度見直してください。

A、駐車監視モード B、Gセンサー機能 ※P8, 9 参照

1.2、エンジンをかけると電源が入りますが、すぐに電源がおちてしまいます。

- SDカードが壊れている可能性があります。別のSDカードをお試ください。
- 充電コードの接続がしっかりとされていない可能性があります

1.3、バックカメラが映らなくなった。

接続点2点をご確認ください。

- ①バックカメラと本体の差し込み口
- ②バックカメラ配線とバックカメラ本体のコネクター部分

1.4、バックカメラの映像が左右逆になっている

バックカメラは鏡像仕様となっております。再生した場合は左右逆表示になります。本製品の仕様のため不具合ではありません。

1.5、シガーソケットをバッテリーに直接つないでもいいですか。

シガーソケットを加工しますと正常作動しません。必ず付属のシガーソケットをご使用ください。

1.6、SDカードのフォーマットはなんですか。

SDカードを初期化します(最初の状態に戻すこと。またはすぐに使える状態にすること)

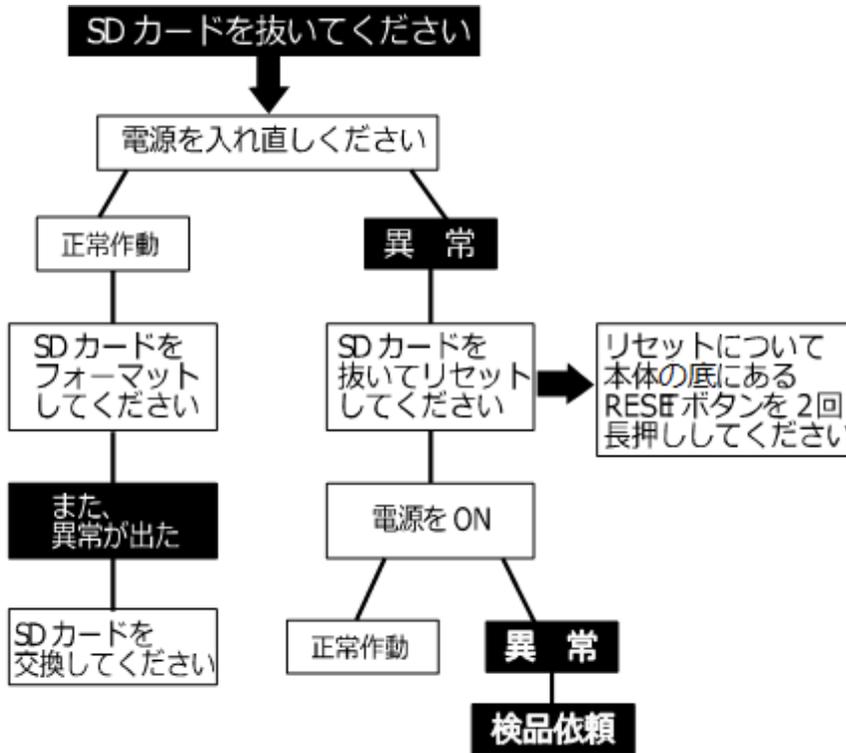
1.7、録画の一部が保存できていない。あるいは一部の録画が再生できない。

新しいマイクロ SD カードを交換してください。正規のクラス10の8GB~32GBまでのカードをご利用ください。

18、運転途中で電源が勝手に落ちたりする。

- A、DC アダプターと車のシガーソケットの接続をさし直してみてください。
- B、本体給電口の差直し。
- C、オートシャットダウンがオンになっている場合、マイクロSDカードを交換してみてください。破損したカードですと勝手に録画が停止することがあります。

19、本体が正常作動しない（簡易確認表）



検品に関するご案内

お電話にて必ずご連絡の上、検品依頼をお願いいたします。

※お電話にてご連絡のない検品依頼に関しましては検品をお受けできない場合がございます。

商品到着から 14 日間が初期不良の対象となっております。

14 日間を過ぎますと検品にかかる往復送料はお客様負担となります。

※保証期間は販売店により異なります。

●製品の主な仕様

- ドライブレコーダーサイズ（約）：29.5×11.5×4.5cm
- バックカメラ本体サイズ(本体のみ約):2.2×2.2×2.2
- 本体重量（約）：260g
- シガーソケットコード長さ：3.5m
- バックカメラ用コード長さ：5.5m
- バックカメラ配線長さ約：0.4m
- モニターサイズ：5 インチ
- レンズ角度:広角 140 度
- 内蔵バッテリー：180mA
- 生産国：中国

保証書

本製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。保証規約をよくお読みください。

保証期間:お買い上げ日より6ヶ月

商品名:3カメラ同時録画ミラー型ドライブレコーダーcar-073

お客様情報:

氏名: 連絡先:

住所:

ご購入日: 年 月 日

販売店情報:

店名: ㊞

住所:

連絡先:

押印のない場合は、購入日のわかるものをご提示ください。

<保証規約>

この製品はお買い上げから半年以内に不具合が発見された場合は修理対応致します。損傷が保証範囲を超えていると判断した場合は修理の際に費用を請求することがあります。

- すべての修理は当社で行います。機械を分解しないでください。
- 事故による破損が認められる。
- 保証の範囲内であれば、修理は無料で行います。
 - ・保証による対応は、該当商品の修理、および交換にかかる費用になります。
 - ・初期不良等があった場合は商品到着後2週間以内に当社宛あるいは販売店にご連絡をお願いいたします。
 - ・初期不良期間を経過しているものに関しましては、往復送料はお客様負担となりますのでご了承ください。
- 送り状あるいは購入明細書などご購入日がわかる書類を大切に保管してください。
- 保証期間内に人為的でない破損があった場合は、無料で修理致します。
- 保証期間を過ぎた場合は、修理費用がかかります。
- 販売店に事前連絡なく商品を返送する、返送途中で商品が紛失、故障した場合は、保証対象外となります。
- 保証の除外事項
 - 1、本製品の説明書に記載している使用方法や取扱方法、注意事項に反した使用。
 - 2、お買い上げ後、運送、落下、損傷などによる不適切な取り扱い。
 - 3、お買い上げ後のお客様による分解、修理、改造。
 - 4、天災（水災、水害含む）など不測の天変地異の結果生じた事故、損害。
 - 5、消耗品の修理、交換費用。
 - 6、本保証書およびご購入証明書類のご呈示がない場合。
- 本製品の使用および不具合の発生によって、二次的に発生した損害、損失などにつきまして、弊社では一切責任を負いません。
- 本製品を装着することにより他の製品、機器に生じた事故や損傷について、弊社では本製品以外について修理費用などは一切保障いたしません。
- お客様及び第三者の故意また過失と認められる本製品の故障・不具合の発生につきましては、弊社では一切責任を負いません。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。